

クリティカルパス推進委員会

委員長 内田 博喜

クリティカルパス推進委員会では、クリティカルパス(以下、パス)を用いて医療の標準化・効率化、チーム医療の円滑化等を目指し、パスの推進を行っています。パスとは簡単に言うとあらかじめ決められた治療のスケジュール表のことで医療スタッフと患者さんが治療計画を共有しながら治療や検査を行っていきます。このパス内容を充実させることにより医療の質や患者サービス向上に繋がっていきたく考えています。

令和4年度の主な活動としては、医師・看護師を始め院内の様々な職種のパス委員を中心として電子パスの促進を図りました。電子パスはあるが紙パスを使用していることもあり、問題点の洗い出しや修正を行い、使用頻度の高い紙パスを順次電子パスへ移行しました。電子パスの新規作成や修正等電子パスの見直しを行い、看護ケアや観察項目を看護オーダーとして入力できるように改善し、使いやすく安全に使用出来るパスになるよう取り組みました。現在、当院では紙パス81種類、電子パス52種類があります。今年度電子パスは、月平均225件使用されています。特に産婦人科、歯科口腔外科、消化器内科、内科での使用が高くなっています。

今後は、紙パス廃止を目指し、より電子パスを促進するため、電算やベンダーとも連携をとりながらパスの改善・促進を行い、チーム医療の円滑化や医療の標準化、患者サービスへの向上に寄与できるよう活動を行っていきたくと思います。

★今年度改訂した患者パスの1例

腹腔鏡補助下腔式子宮全摘術を受けられる患者様へ

患者様氏名: _____ 様 主治医: _____ 受持看護師名: _____ 患者様用

月日	経過	手術当日	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目~4日目	手術後5日目	手術後6日目(退院)
経路	入院日(手術前々日~前日)	手術当日	手術後1日目	手術後2日目	手術後3日目~4日目	手術後5日目	手術後6日目(退院)
達成目標	入院生活になじむことが出来る 安心して手術に臨むことが出来る	手術後は出血など無く経過がよい	痛みが軽く、歩行することが出来る 腸の動きが良好で、排ガスを認める	手術後の合併症がなく 日常生活に支障がない 排ガスが良好で違和感がない 毎日、排便がある	手術後の合併症がなく 日常生活に支障がない 排ガスが良好で違和感がない 毎日、排便がある	手術後の合併症がなく 日常生活に支障がない 排ガスが良好で違和感がない 毎日、排便がある	【退院基準】 創部の異常がない
治療・薬剤 (点滴・内服)	寝る前に下剤を飲みます 眠れない場合は睡眠薬を内服できます 手術の開始時間は (:) 時頃です	7時頃洗腸を行います 点滴をしていますが 洗腸後、点滴をします	点滴をしていますが 点滴は手術後1日目までです	検査は1日4回です	検査は1日3回です	検査は1日2回 です	
処置	下腹部の剃毛、膀胱置を行います 弾性ストッキングのサイズを測定します	弾性ストッキングを 着用します 尿の管が入っています 足にポンプ装置をつけます				退院の前に 診察があります	
検査			血液検査(朝)をします			5日目に血液検査 をします	
活動 安静度	制限はありません		ベッド上安静です 体の向きを変えたり 足を動かしたりは できません	はじめて歩く時は看護師が 付き添います。歩けるようにな れば、尿の管を抜きます。足 のポンプ装置もはずします。	制限はありません。腸の動きをよくするた めトイレ以外でも歩いて体を動かしましょ う		
食事	夕食後より 絶食となります	食べたり飲んだりできません	朝から水分可 夕から流動食がはじまります	朝から5分粥	3日目朝から全粥 4日目朝から常食	常食	常食
清潔	剃毛後にシャワーに入ります 化粧・マニキュアはとりましょう		体を拭き替えます	シャワー浴がで きます			
排泄		尿の管が入っています	トイレまで歩行できたら 尿の管を抜きます		排便がなければ お知らせください		
患者様及び ご家族への 説明 栄養指導 服薬指導	・看護師から入院生活の説明を致します ・必要物品(ナプキン1袋) 売店にも置いています。	 ・手術後、主治医 よりご家族に手術の 結果を説明 いたします。 ・舌痛時は我慢せず お知らせください				退院後の生活に ついて説明しま す	・退院当日次回受診日 の説明があります。

《手術までに練習しましょう》

- ☆手術後の舌痛を少なくし、回復を早めるために次のことをしましょう。
 - ・深呼吸の練習→肺・気管の感染予防
腹式呼吸：お腹をふくらませたり、引っ込めたりする。
胸式呼吸：胸をふくらませたり、引っ込めたりする。
- ☆痰を出す練習
 - ・両手でお腹を押さえて膝を立て、咳払いをするようにして痰を出す。
- ☆寝たままでのうがいの練習
 - ・吸い飲みで水を飲み、うがいをして顔を横に向けて水をガーグルベースへ出す。

※同じ姿勢でいると足の血液の流れが悪くなり、血の塊ができやすくなります。その塊が肺の血管に詰まると、肺梗塞といつて重篤な症状を引き起こすことがあります。その予防として手術直前から歩行開始まで弾性ストッキングの着用と、術後に足のポンプ装置の装着を行なっていただきます。

*タバコは気管を刺激し、咳や痰が多くなるので、禁煙して下さい。

*手術当日：指輪、時計、メガネ、コンタクト、入れ歯等は取って下さい。髪の毛は結んで下さい。

*状況により経過が前後することもあります。

中津市立中津市民病院3階西病棟 2022年9月改訂
2022年9月クリティカルパス推進委員会